

第85回「萩句会報告」 (順不同)

日時 2016年6月12日(日) 15時～17時

箱根吟行 「山のホテル」

兼題「夏野」

川井素山 ○そちこちに釣糸垂れる梅雨晴間
雪溪や山並青み夏立ちぬ
遊覧船目の前過ぎる雲の峰
一巡り庭に一枚夏野かな

保井寶正 ○黒たまご買ふや箱根は梅雨の入り
箱根路の青葉若葉の賛歌かな
さわさわと交響曲の夏野行く
白^{そうび}薔薇鳥鳴く森にきわだてり

後藤克彦 ○虎が雨軒下に猫残し去る
植替の土に潜れし大蚯蚓
竹落葉隣家の境消して舞ふ
夏野には背負ふリュックの赤似合う

佐久間喬 ○大夏野何するでなく牛群れる
三階の窓に咲き初む泰山木
新茶汲み旅の思い出饒舌に
バラ園へチャペルの扉開きをり

丸山酔宵子 ○噴煙が雲に溶け込む大夏野
海の香を残して逝きぬ五月闇
薔薇の香がつつむ湖畔のチャペルかな
樹々の青湖面耀き覗く富士

菊地崇之 ○紅薔薇や色香に心盗まるる
夏野駆く置いてけぼりに一休み
囀りや山のホテルの満願記
緑陰や箱根の森に薄日差す

佐久間たか子○黒牛ののらりくらしと夏野かな
初螢手足に青くひらひらり
梅雨晴れに杉木立ゆく箱根路や
梅雨晴れや芦ノ湖ゆらす漕ぎボート

山本草風 ○昔日を友と語りて明け易し
夏の野に藤咲き誇り官女舞
徒然に妻と二人の青葉刈り
夏痩せに病と闘ふ友遠く

佐伯兵庫 ○讚美歌をばらに聞かせる山の宿
夏野原子供に戻りかくれんぼ
梅雨寒に心伸びやか美肌の湯
森林浴追い越していく揚羽蝶

渡辺鯨波 ○夏野ゆく新型電動車いす
写メールで妻に送りし大夏野
新緑に見え隠れする海賊船
金婚の植樹の幹や雲の峰

次回「萩句会」

日時 2016年7月11日(月)14時～17時

場所 下目黒住区センター**第3**会議室 (いつもと異なります)

兼題 『甚平』一句 当季雑詠三句 計四句